

就職活動の時、国際的な職場で働け、女性でも平等にキャリアを積める

女性管理職が語る

みんなで育て、育てられる

会社としてP&Gを選びました。ところが入社すると、先輩女性の話に圧倒されました。「子供2人を連れ米国に単身赴任した」「産休育休後に大きな組織のリーダーとして昇進した」。スーパードウーマンだからできることで、自分にはとても無理、目指すことさえおこがましいと思ってしまう

当時の私は結婚もしておらず、子供をすぐ持つ予定もなかったのに自分で限界を作ってしまったし、身近な女性管理職やメディアに登場する女性リーダーと同じような感情を抱く人もいるのではないだろうか。

ポルディレクター

長神 真梨子氏

ちょうじん・まりこ 2010年大学卒業、日本法人マーケティング本部入社。ベビーケアやホームケア事業部などを経て、17年より2度目のシンガポールに赴任中。3児の母。

がからんでくると、初めに自分の立てた道筋どおりには行かないことの方が多いいと思います。

一足飛びに行かなくても、目の前の仕事に集中し少しずつスキルを身につけ、少しずつ冒険して自分の能力を広げていく。そして職場でも家庭でもそれ以外でも自分の味方を増やし、キャリアの節目ごとに小さな決断をしていけば、自分が思

った以上に自分の納得できるキャリアを作っていると思います。

大事なのは少しずつ背伸びをすること、頑張らないと手が届かない、けれど頑張れば手が届くチャレンジを重ねることで、自分ができると思える仕事だけを続けても学びが少なくないですし、あまりにも自分に大きな負荷をかけすぎてもポキンと折れる恐れがあります。

1人目の産休から復帰して1年弱、夫婦共働きで子育てをしながら、初

めでの管理職として苦労していたとき、シンガポール赴任を打診されました。夫の仕事に加え、ちょうど2人目を考えており、迷惑をかけたくない

「と言われることがありますが、その逆で、たくさんの方に育ててもらえばいいのです。」

1人のリーダーを育てるにも多くの人の協力が必要です。育てる側もそれを意識しないといけないですし、育ててもら

った以上自分の納得できるキャリアを作っていると思います。

大事なのは少しずつ背伸びをすること、頑張らないと手が届かない、けれど頑張れば手が届くチャレンジを重ねることで、自分ができると思える仕事だけを続けても学びが少なくないですし、あまりにも自分に大きな負荷をかけすぎてもポキンと折れる恐れがあります。

1人目の産休から復帰して1年弱、夫婦共働きで子育てをしながら、初

めでの管理職として苦労していたとき、シンガポール赴任を打診されました。夫の仕事に加え、ちょうど2人目を考えており、迷惑をかけたくない

「と言われることがありますが、その逆で、たくさんの方に育ててもらえばいいのです。」

女性リーダーたちは私たち若手のモチベーションをあげようと話をしてくれたはずですが、要も、その目標と自分を

比べて不安に感じる必要

ありません。しかし、子育てや家庭の事情、健康の問題などいろいろな事柄

を掲げて、そこに真

目標を立てる必

要も、その目標と自分を

比べて不安に感じる必要

ありません。しかし、子育てや家庭の事情、健康の問題などいろいろな事柄

を掲げて、そこに真

目標を立てる必

要も、その目標と自分を

比べて不安に感じる必要

ありません。しかし、子育てや家庭の事情、健康の問題などいろいろな事柄

を掲げて、そこに真

目標を立てる必

要も、その目標と自分を

比べて不安に感じる必要

ありません。しかし、子育てや家庭の事情、健康の問題などいろいろな事柄

